

君津市教育情報化推進計画（案）について

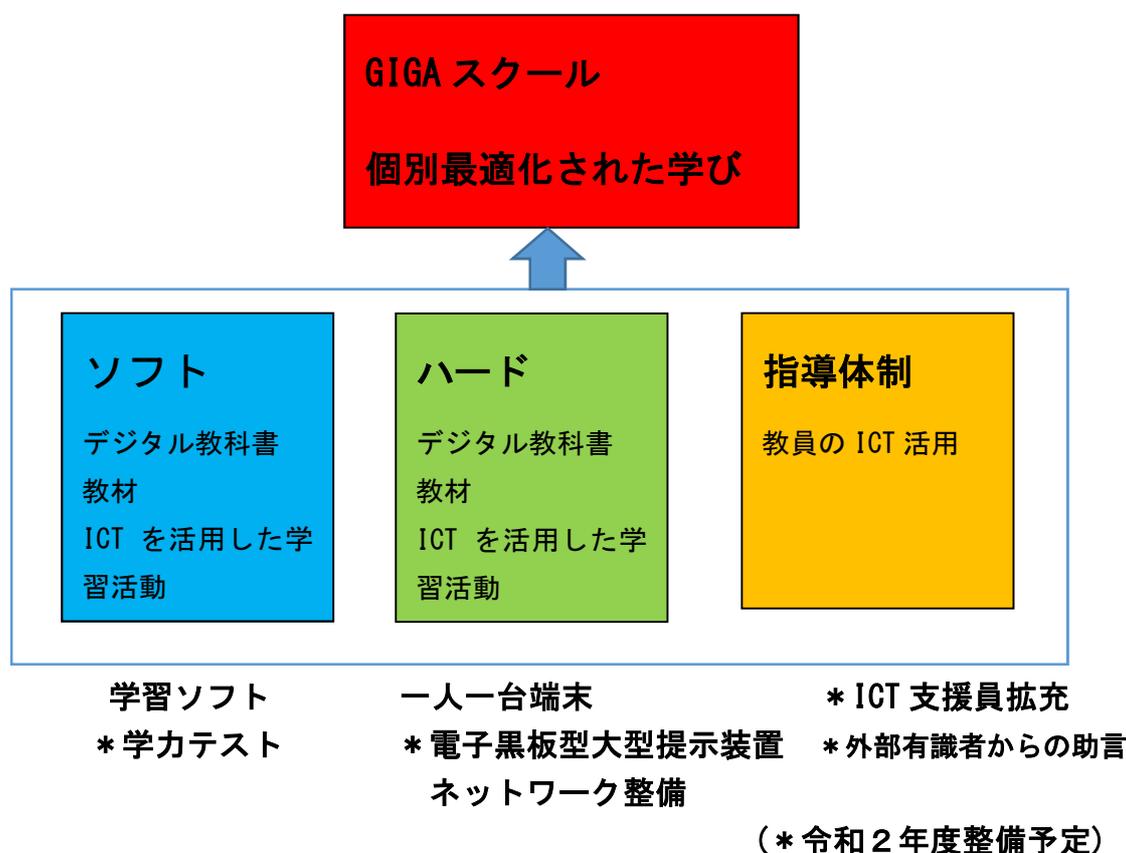
1. 君津市教育の情報化推進計画（案）について

（別紙）

2. GIGA スクール構想進捗状況

- 10月末に一人一台端末を中学3年生に配置完了
- 12月末に、一人一台端末を中学1，2年生にも配置完了
- 1月末まで小学生全学年、教職員にも配置完了
- 年度内に校内普通教室の通信無線ネットワーク工事完了

3. 「GIGA スクール構想」の実現へ向けて



“GIGA” =Global and Innovation Gateway for All

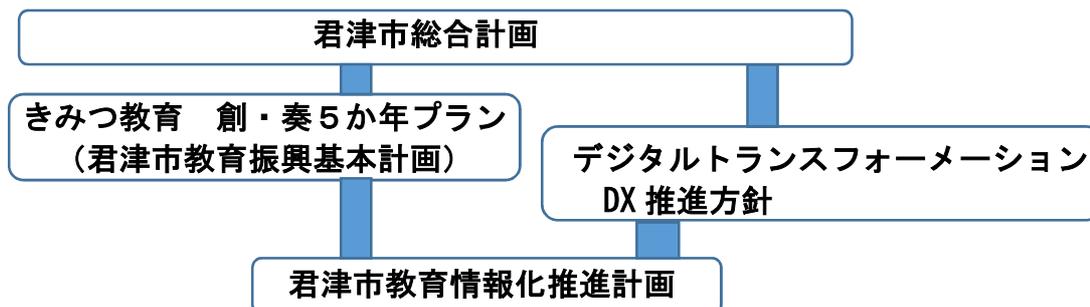
すべての子どもたちに世界とイノベーションへの入り口を（意識）

「ハード」だけでなく、「ソフト」「人材」一体となった施策の推進

君津市教育の情報化推進計画骨子（案）

国が示した「整備計画」および「教育振興基本計画」、「GIGA スクール構想」を踏まえ、「デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進方針」、「第三次きみつ教育 創・奏5か年プラン」の目標の下、効果的な機器の活用方法を模索しながら、新時代に即した情報活用能力の育成や想像力を育む学びを実践していく。

1 君津市教育の情報化推進計画の位置づけ



2 計画の基本方針および方策（案）

方針	10の施策	
情報活用能力の育成	①	情報活用能力等の資質・能力の育成のためのカリキュラムマネジメント
情報活用能力の育成 教科等の指導	②	発達段階に応じた情報モラル教育の実施
	③	プログラミング教育の実施
	④	主体的対話的で深い学びの視点からのICTを活用した授業実践
教科等の指導 における活用	⑤	個別の特性や能力・状況に応じた学習の充実
	⑥	教員のICT活用指導力の向上のための取組
	⑦	校務支援システムの活用による業務改善
校務の情報化 の推進	⑧	家庭地域との連携強化
	⑨	児童生徒の安心安全へのICTの活用
環境の整備 (DX推進方針との連携) 学校の情報化を支えるICT環境の整備		

3 学校におけるICTを活用した学習場面例

児童生徒の「情報活用能力の育成」や「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」のため、各教科等の指導におけるICTの効果的な活用を推進していく。

- 教員による提示
- 個に応じる学習
- 調査活動
- 思考を深める学習
- 表現・制作
- 家庭学習
- 発表や話し合い・協働での意見整理
- 協働制作
- 学校の壁を越えた学習
- 非常時における学びの保障

大和田小・坂田小の統合校の新校名について

1 趣旨

「学校再編第2次実施プログラム」にもとづき、統合により新たな学校づくりを行い、学校の活性化を図る。

大和田小・坂田小の統合にかかる校名を選考する。

2 校名決定に至る進め方

(1) 統合準備室の設置

学校関係者、地域代表者、保護者代表者が参加する組織であり、新たな学校をつくるための検討事項を協議する。

(2) 校名候補の絞込み

統合準備室にて、選考方法を考え、校名の絞込みを行う。

(3) 統合準備室から教育委員会へ

統合準備室にて推薦する校名を教育委員会へ提言する。

(4) 教育委員会会議にて原案の決定

推薦された校名の中から、校名の原案を決定する。

(5) 「君津市小・中学校設置条例」の改正について上程

3 これまでの経緯

7/2 大和田小・坂田小統合準備室の設置

7/2 第1回総務部会の開催

議題 「校名について」

8/20-9/22 校名の募集

10/8 第2回総務部会の開催

議題 「校名候補の絞込みについて」

4 募集の結果

応募者

・市内外問わず応募があった。

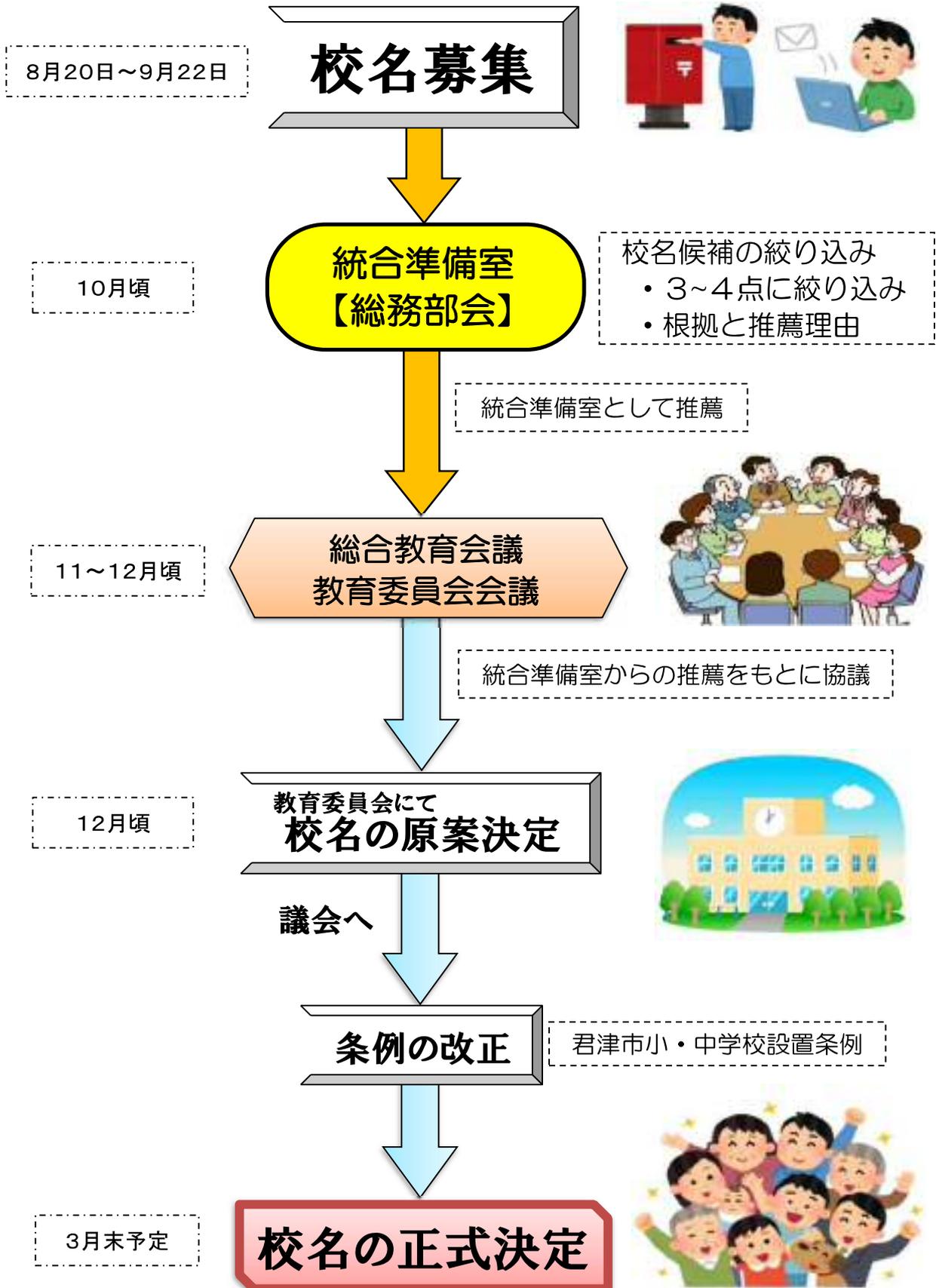
・在校生、卒業生、一般の方々から多く集まった。

応募数 269件

5 統合準備室からの推薦書 ※別紙参照

校名決定までの流れ

参考



推薦書

大和田小・坂田小学校の統合校名

推薦校名	主な推薦理由
君津小学校	<ul style="list-style-type: none">・君津を代表する小学校として発展してほしい。・この地区には、君津の名が入った住所（大字名）がいくつか存在するが、他地区にはない。また、市内には君津の名がつく小学校がまだない。・子どもにもなじみのある名前である。
君津西小学校	<ul style="list-style-type: none">・君津市全体の西側、君津西地区に位置している。・今後も他地区で再編があることを考慮すると、君津西小が適している。
周西北小学校	<ul style="list-style-type: none">・周西小より北に位置している。・もとは周西小から分かれてできた学校であり、場所もわかりやすい。・中学校は「周西中」であり、地域名としての「周西」の名を残したい。
周西の丘小学校	<ul style="list-style-type: none">・「丘」は校歌の歌詞にもあり、子どもたちになじみがある。・周西中も隣接しているため、場所もわかりやすい。・地域名としての「周西」の名は残したい。

※応募件数が最も多かった「山の上小」が上記選定候補に入らなかった理由

- ・「山の上」は、確かに通称として長年親しまれているが、大局的に見ると地域限定の通称であるということ。
- ・「山の上」は、他の施設名等でも多く使われているということ。
- ・正確には、「山」というより「丘」であるということ。

【参考意見】

- ・「君津小」が望ましいが、市内中学校には君津中があり、小中のつながりや学校の位置関係など複雑化することへの懸念もある。

第2回総務部会を開催

「校名候補の選定について」

10月8日(木)坂田小学校において、第2回目の総務部会を開催しました。
校名募集で寄せられた269件(校名案108案)をもとに、新たな小学校の校名について選定するため、統合準備室委員で協議をしました。選定された校名候補4点と公募における主な応募理由、そして協議での主な選定理由については、以下のとおりです。

校名候補と公募における主な応募理由



君津小

- ・君津を代表する小学校として発展してほしい。
- ・「鉄のまち君津」日本製鉄に一番近い。
- ・君津中や君津高校もあることを踏まえて、小学校はまだ君津を冠した名前がない。

君津西小

- ・大和田小、坂田小の統合校として躍進してほしい。
- ・君津市の一番西側にある小学校である。
- ・既存の名前を残さず、統合するので新しい名前が望ましい。

周西北小

- ・東西南北「周」のつく学校で競合し合い、学業・思いやり・健康等を育み、地域全体が一本化してレベルアップを願って。
- ・もとは周西小からの分離であり、周西小の北側にあるため。
- ・周西小と兄弟姉妹であるという思い。

周西の丘小

- ・大和田、坂田どちらの地域からも、違和感なく親しみを持てる小学校となるように。
- ・この50年、山の上3校で成長してきたことを繋げていけるよう、丘にある小学校というわかりやすい名前がよい。

総務部会で委員から出た主な意見(選定理由)について

- ・両校の名前はなるべく避けたい(どちらの名前が先で後でということも含め)。
- ・「君津小」…学区には君津の名前が入った住所(大字名)がいくつかあるが、他の学区にはない。また、市内に君津の名前がつく小学校がない。子どもになじみがあるので、よいのではないか。
- ・「君津西小」…今後も再編があることを考えると、君津市の西側、君津西地区に位置していることや、君津の名は付けたいということからもよいのではないか。
- ・「周西北小」…周西小より北にあり、周西という名は残したいので、よいのではないか。
- ・「周西の丘小」…周西中校歌の歌詞にも「丘」とあり、昔からなじみもある。地域的な名前を残しつつ、場所がわかりやすいという理由からいいのではないか。
- ・「山の上」は通称として長年親しまれているが、地域限定であり、他の施設名等でも多く使われている。通称とはいえ、厳密には山というより丘であることも考慮する必要がある。

編集・発行：大和田小・坂田小統合準備室
事務局：君津市教育委員会 学校再編推進課
TEL0439(56)1562 FAX(56)1627

統合準備室の資料や会議録は、
君津市ホームページにも掲載
しています。ご覧ください。

大和田・坂田小学校統合施設整備基本構想及び 基本計画の進捗について

1 趣旨

大和田・坂田小学校統合施設整備にあたり、長期にわたり良好な教育環境を維持することを前提としつつ、さらなる教育環境の拡充や用途の複合化など検討する。

(1) 基礎となる方針・計画

- 文部科学省小学校施設整備指針
- 君津市学校施設の個別施設計画
- 君津市学校再編基本計画
- 君津市学校再編第2次実施プログラム 『学園の丘』文教エリア構想

(2) 用途の複合化に係る検討

- 防災機能について
- 放課後児童クラブについて

2 基本構想及び基本計画策定に係る支援業務委託

(1) 支援業務

現況調査をもとに課題を整理し、必要な改修や改築の判断、備えるべき機能や配置、用途の複合化等を検討し、基本構想及び基本計画作成の支援を行う。

(2) 現況調査

- 坂田小学校校舎躯体劣化度調査
- 屋内運動場耐力度調査
- 坂田小学校職員への施設面の課題調査
- 教職員からの要望調査
- 施設内の記念樹・記念品等の調査

3 関係課との協議

(1) 用途の複合化

- 危機管理課
 - ・ 防災機能、避難所として備えたい機能について
 - ・ 危機管理監からの助言（学校施設・道路の状況を視察）

子育て支援課

- ・放課後児童クラブ施設の方向性について

(2) 周西中グラウンドの共用

管理課

- ・市道の歩行者用道路化（車両通行禁止）、市道廃止等について

4 全庁横断的な協議

学校再編検討委員会については、各部局から委員を選出していることから、全庁横断的な検討の場として協議を進めている。

第1回 7月 3日 基本構想及び基本計画の策定の考え方について

第2回 11月13日 現況調査結果と用途の複合化について

第3回 1月19日 基本構想及び基本計画策定について（予定）

※第3回目において協議後、FM推進本部（幹事会を含む）に報告する。

八重原地区通学区域見直しに関する学校関係者協議会について

1 趣旨

学校再編第3次実施プログラムの策定にあたり、八重原地区の通学区域の見直しについて、学校や地域を熟知している学校関係者から意見を聴取し、課題を洗い出す。

2 組織

八重原小、南子安小、北子安小、外箕輪小、君津中、八重原中より
学校長、保護者代表1名、地域代表（学校評議員）1名

3 開催日及び協議内容

- 第1回 7月9日 現状と課題（通学路、地域連携）
適正規模・適正配置 など
- 第2回 9月1日 通学路の安全確保（国道横断）
自治会と通学区域
小学校と中学校の関係性 など

4 意見概要

- (1) 適正規模に関すること
- ・クラス替えができる規模は必要
 - ・学校施設にあった規模が望ましい
- (2) 通学に関すること
- ・国道の横断する場合は安全確保のための手立てが必要
 - ・ハード面とソフト面の対策が必要
- (3) 自治会の区割りと通学区域に関すること
- ・地域行事等に与える影響やこれまで築き上げたつながりを考慮してほしい
- (4) 小学校と中学校の進学に関すること
- ・小学校と中学校で通学区域が異なることは大きな問題にはならない
- (5) 他地域に関すること
- ・貞元小学区や周南小学区の再編はあるのか
- (6) 施設整備に関すること
- ・再編に合わせてしっかりと学校施設を整備してほしい

令和2年12月24日

保健福祉部

【共同記者会見】

新型コロナウイルス感染症対策

千葉大学と連携してPCR解析事業を実施します

本市では、新型コロナウイルスの影響で市内の公立学校等が休校等となった場合などにおいて、保健所によるPCR検査（行政検査）の対象にならなかった生徒等のうち、希望する方を対象に、千葉大学大学院医学研究院と11月30日に締結した協定により、PCR解析を実施します。

1 目的

市内で新型コロナウイルス感染症の影響により学校等が休校等となった場合に、無症状であり、保健所によるPCR検査（行政検査）の対象となっていない関係者に対して、PCR解析を実施し、学校等の再開に当たっての不安を解消し安心を確保することを目的とします。

2 内容

行政検査の対象とされなかった学校等の児童、生徒、教職員等（解析対象者）の唾液を千葉大学医学部に研究用として提供し、PCR解析を実施します。

※研究目的に採取する検体（唾液）の解析であって、衛生検査としてのPCR検査には該当しません。

3 対象者

主に、君津市立保育園、同こども園、同小学校、同中学校に在籍する児童・生徒、職員

4 実施手順

- ①解析対象者又はその保護者等（以下「解析対象者等」という。）の意向を確認し、同意書を提出してもらう。
- ②解析対象者等が検体回収キットを使用し、検体（唾液）を採取する。
- ③検体（唾液）を千葉大学医学部に搬送する。
- ④千葉大学医学部がPCR解析機器を使用し、唾液のPCR解析をする。
- ⑤解析結果として陽性の疑いの「有無」が判定される。

※陽性の疑いが「有」と判定された者がいた場合は、君津市が指定した医療機関を受診し、行政検査を実施する。（陽性が確定した場合は、医療機関から保健所に届出を行う。）

5 費用

自己負担はありません。

(ただし、陽性疑いの場合の医療機関受診に際しては、自己負担が発生します。)

6 期間

令和3年1月上旬から令和3年3月31日まで

7 共同会見出席者

- ・千葉大学 大学院 医学研究院長 中山 俊憲 様
- ・千葉大学 大学院 医学研究院教授 金田 篤志 様